

森の家

1・2

小島洋児

森には多角形ハウスが似合う！

森の中を、風が爽やかに通りぬけ、太陽の陽ざしが大地の隅々まで行きわたるのは、木々の幹のカタチが円形だからです。

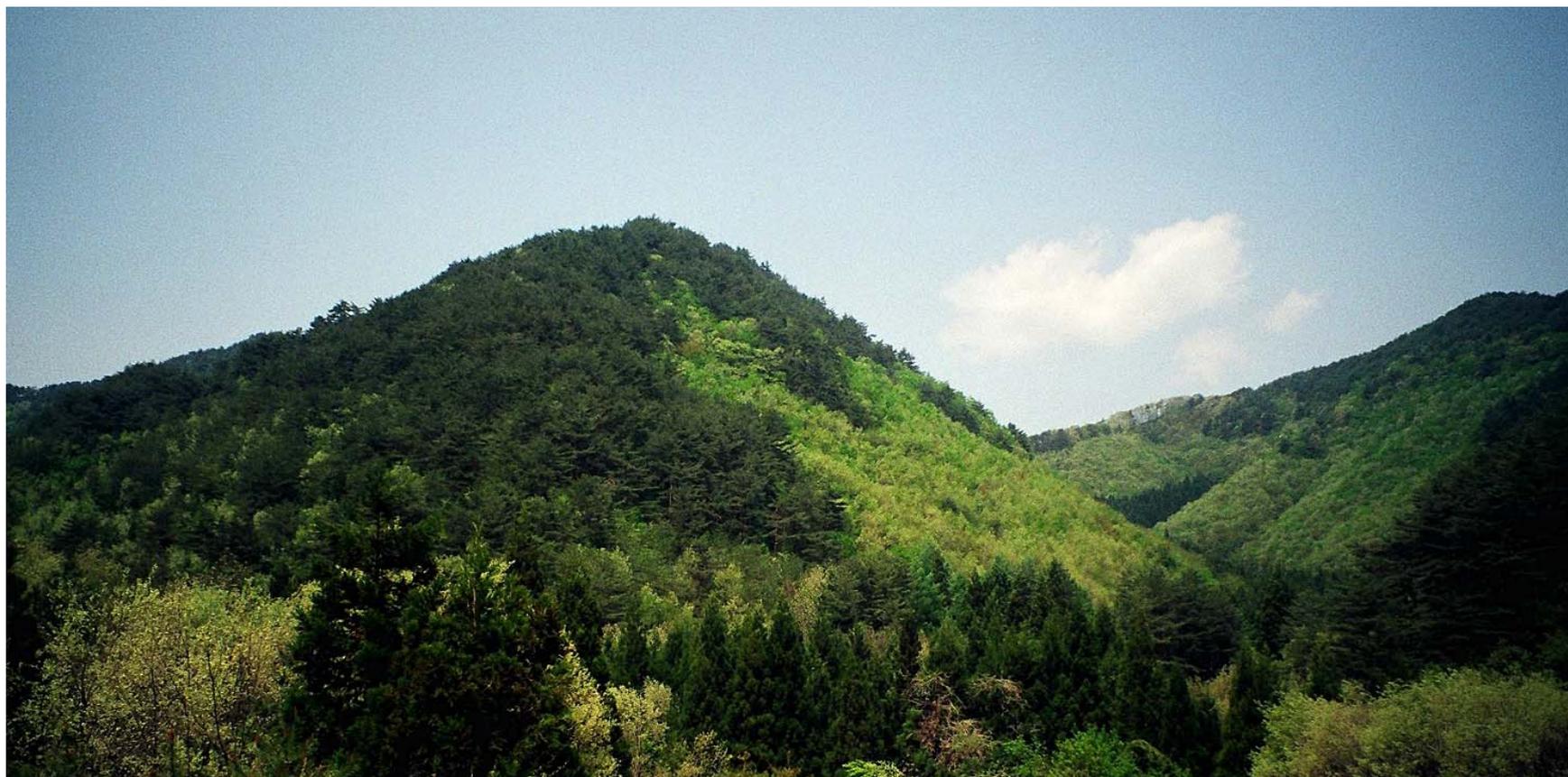
想像してください、もし、すべての木の幹が四角く角張っていたら、森の雰囲気はどうなってしまうのでしょうか？

私が森の施設を設計するときは、出来るだけ円形に近づくようプランニングします。例えば今まで、5角形、6角形、8角形のプランをはじめ、12角形や16角形のサークルハウスやツリーハウス、バイオトイレをつくってきました。

多角形でつくられたそれらの建物はどれも、風や太陽の光を遮ることなく、木々や野草たちがつくる森の景色に、もう何年も前からそこにあるかのように、文字通り自然に溶け込んでいます。

ウッドペッカー 1

山形県上ノ山市柏木



山の斜面を覆うように広がる広葉樹の森の中に建てられた。

私のツリーハウスを含めた
森の家シリーズは
この小屋から始まる。

[データ]

15角形母屋：7.7㎡/4.7帖

(ロフト：3.35㎡/2.3帖)

7角形トイレ：1.7㎡/1.0帖

合計：9.4㎡/5.7帖

【工事】

町田工務所

シェイドツリー・ユニット

・
2005

上ノ山市郊外の
広葉樹の山の斜面に
16角形を基本にした母屋と
8角形を基本にしたトイレを
建てられた。

少なくとも2泊しながら
四季の森を



最初のスケッチ模型



大工さんと打ち合わせ



夏の佇まい



オープニングに、篠笛の鯉沼博行さんとお弟子さんに演奏していただいた。



新緑の頃

Photo. By T. Maekawa



Photo. By T. Maekawa



晩秋のウッドペッカー 1



新雪の頃



森の暮らしには、薪ストーブが必須である。



ロフトは、約2.3帖の広さ



奥にバイオトイレ棟が見える。

Photo. By T. Maekawa



熊の爪痕

軒下にできた蜂の巣を狙ったらしい。



Photo. By T. Maekawa

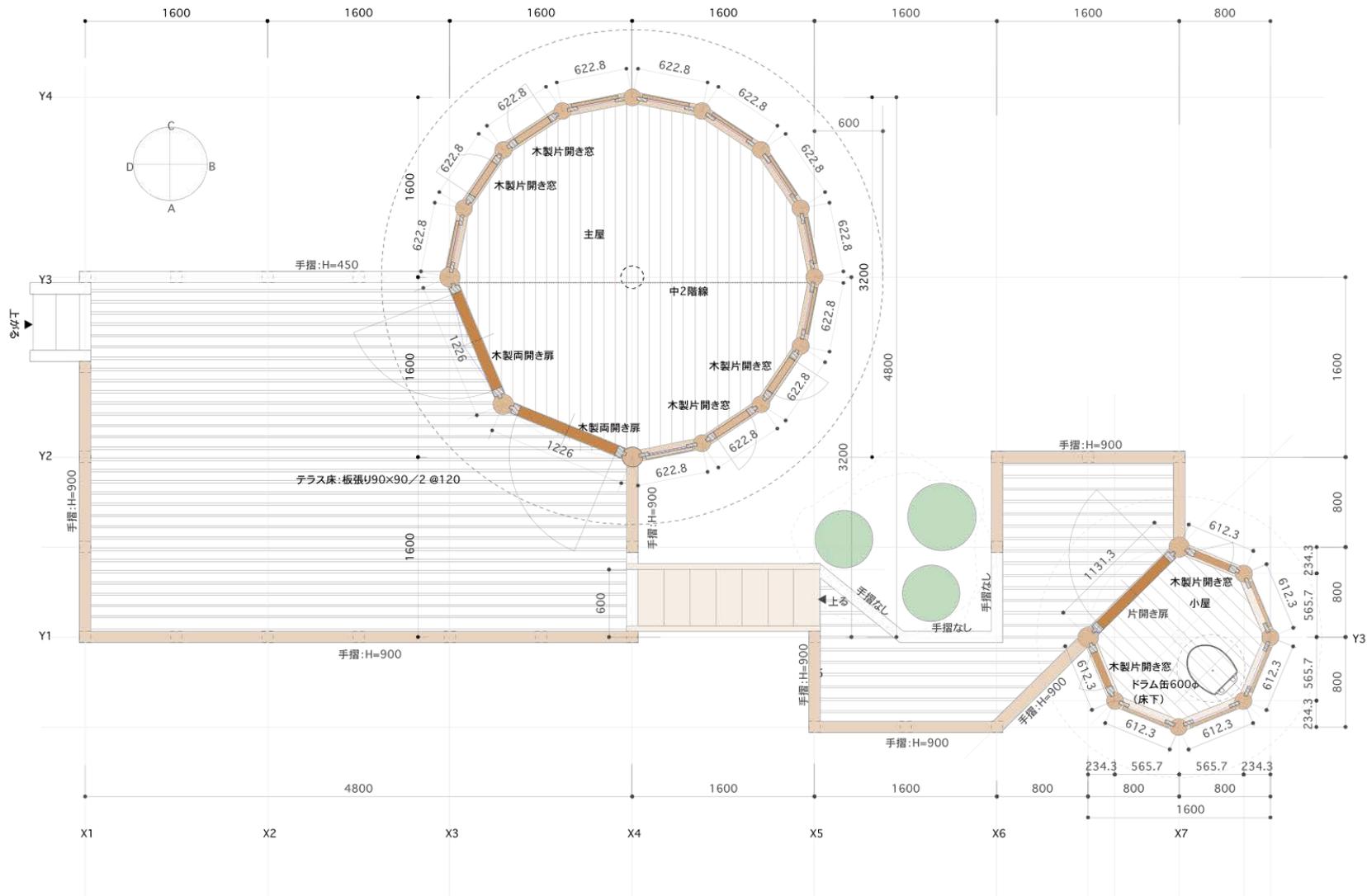




Photo. By T. Maekawa



キャンドルナイト



500個のローソクを使って、総勢12人で楽しむ。







ウッドペッカー 2

埼玉県吾野

2014



奥多摩の山並みが見える森の広場に森の家2を建てた。

【データ】

12角形堂：7.68m²／4.7帖

バイオトイレ：2.25m²／1.3帖

デッキ：17.0m²／10.0帖

【企画】

NPO法人 MORIMORIネットワーク

【工事】

村田工務店

シェイドツリー・ユニット

顔振峠近くの森の広場に
12角形のお堂を建てる

こうぶり峠は
義経が兄に追われて
この地を通り過ぎるとき
見事な景色を何度も振り返って
名残を惜しんだことから
この名がつけられた。

12角形の瞑想空間

森の中にぽっかり開いた広場に建てられた

12角形のお堂は

森の様相を季節毎に

24時間楽しむための空間ですが

シンボリックなカタチなので

瞑想空間としても最適である。



Photo. By T. Maekawa







Photo. By T. Maekawa



Photo. By T. Maekawa

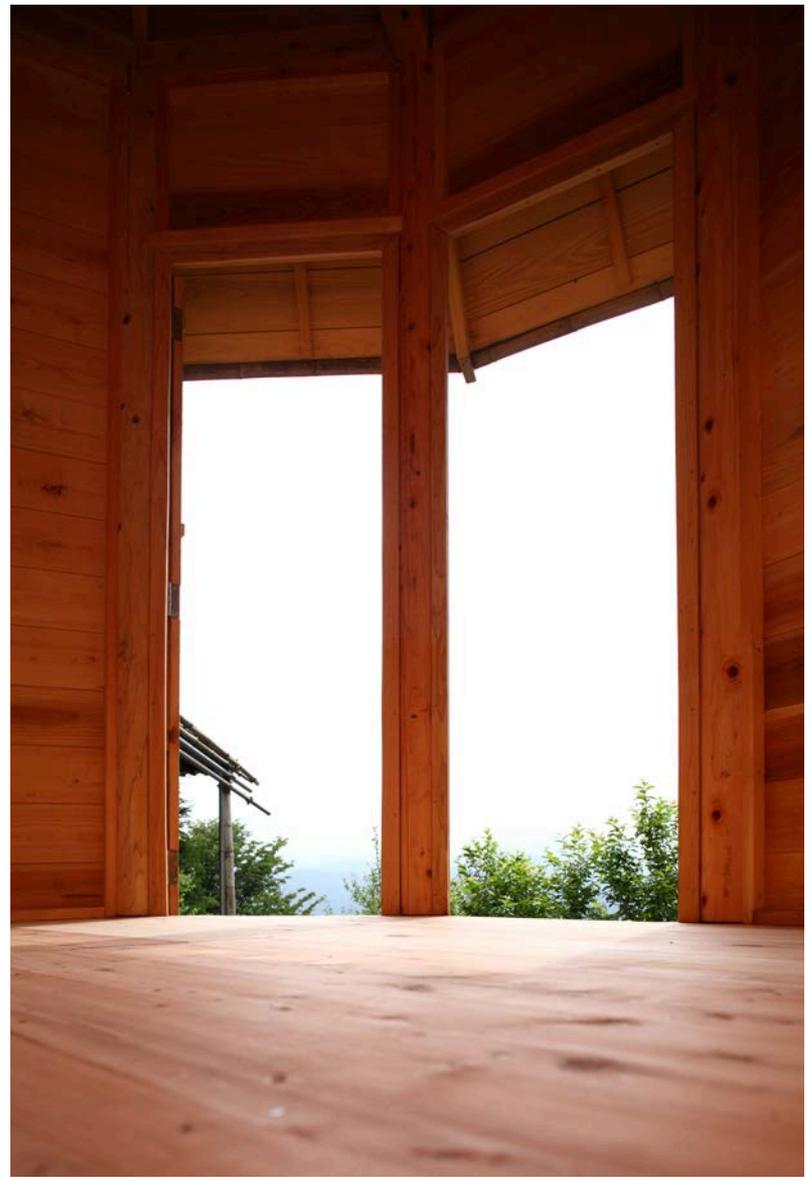
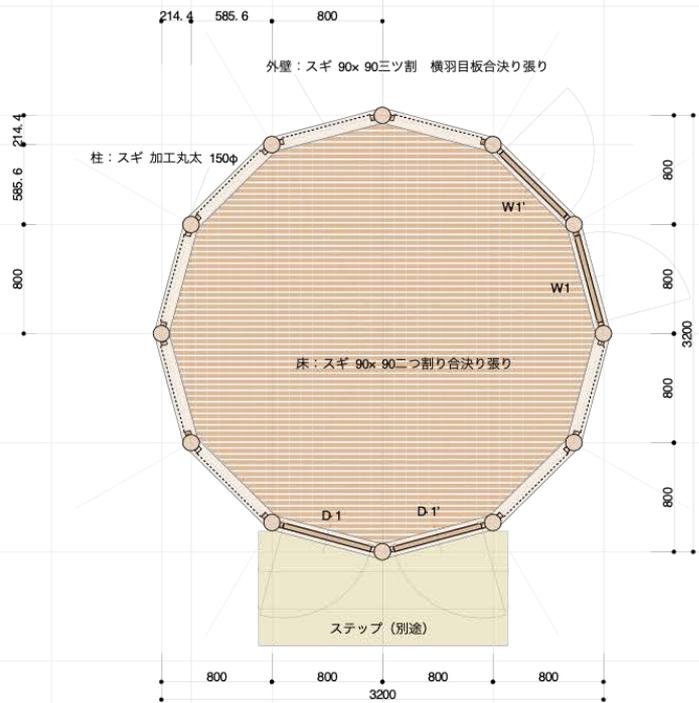


Photo. By T. Maekawa

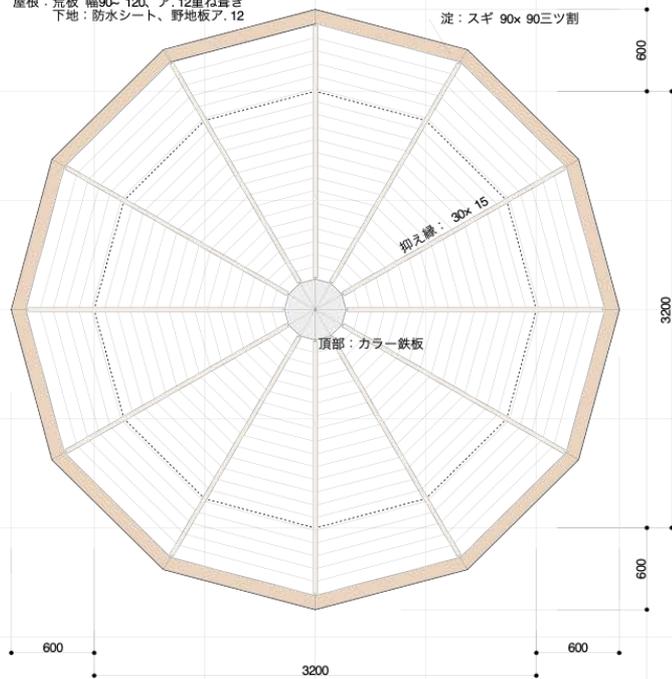


Photo. By T. Maekawa



平面図 1:30

屋根: 荒板 幅90-120、ア.12重ね葺き
下地: 防水シート、野地板ア.12



屋根伏図 1:30



ソーラーパネルで最小限の電源を確保する。



Photo. By T. Maekawa



薪で湧かしたお湯で飲むコーヒーは最高！



バイオトイレ



お堂から奥多摩の山並みを望む。





カラムシに覆われた広場を整備したら、1年でお花畑になり
様々な昆虫や鳥が来るようになった。